

令和8年度 第1回福井市地域生活交通活性化会議 議事要旨

日時	令和8年6月25日(木) 10:00~11:30
場所	福井市役所本館8階 第8会議室(A・B)
議題	別添「次第」の通り
出席者	別添「座席表」の通り
	<p>3 議事</p> <p>議案1：会長の選出について 福井大学 川本委員を選出</p> <p>議案2：監査委員の選出について ふくい路面電車とまちづくりの会 畑委員と京福バス株式会社 松田委員を選出</p> <p>議案3：乗合タクシーの運行計画変更について (資料に基づき、福井交通より説明)</p>
委員	本件については、会議で承認されなければ減便を行えないのか。
福井交通	制度上、事業計画の変更を行うには、交通活性化会議で承認いただいた上で、「協議が調ったことの証明書」を添付して申請する必要がある。
委員	当該乗合タクシー路線は元々、同ルートを運行していた路線バスを廃止するに当たり、本会議で運行計画・運賃等について協議の上設置されたもの。変更や減便を行う際も、会議に諮って皆様の意見を反映した上で実施していくというのが今回の趣旨である。
委員	減便対象外の便の利用状況はどうなっているか。
福井交通	減便対象外の便については、概ね1便当たり2.5~3.5人乗車している。減便対象便は何日かに1回利用がある程度だが、残す便は毎日利用がある。
委員	盲学校の生徒の利用状況はどうなっているか。 また、盲学校は減便について知っているのか。 将来バスを利用する必要がある盲学校の生徒が入学した時は、復便は可能か。
福井交通	過去には盲学校の生徒も利用していたが、現在の利用者数は0人である。スクールバスも走っているため、そちらで代替可能な部分も大きいと考えている。 そういった状況も踏まえ、盲学校にはこれから説明をさせていただく。

	<p>人員不足もあり、一度減便を行うと復便は難しいため、しっかりと説明させていただく。</p>
委員	<p>当該路線について、Google マップの経路検索が昨年からできなくなっている。新規利用者の確保のためにも、経路検索できるようにしていただきたい。</p>
福井交通	<p>行政と連携しながら、データの更新を進めていく。</p> <p>原案のとおり承認</p>
	<p>協議 1：福井市地域公共交通計画の見直しについて (資料に基づき、事務局より説明)</p>
委員	<p>地域公共交通計画の中で、コストの削減だけでなく、公共交通の利用者の増加につなげようという取組みは何かあるか。</p>
事務局	<p>地域公共交通計画の中での利用促進の取組みとして、公共交通のシームレス化の推進、具体的にはキャッシュレス決済の推進や、嶺北連携中枢都市圏で取り組んでいるふくい MaaS での電子切符の販売などを通じて利用促進を図っている。</p>
委員	<p>公共交通を使ったことがない人が多いため、利用が進まないのではないか。公共交通を実際に使って体験してもらう機会を増やせば利用者が増えるのではないか。</p> <p>路線の見直しだけでなく、そういった取組みについても検討いただきたい。</p>
委員	<p>県でも、事業者に協力いただきバスの半額デーや無料デーといった取組みを行ってきたが、どうしても単発で終わってしまう。</p> <p>その中で、今年は地域おこし協力隊の制度を活用し、公共交通に詳しい方を採用して情報発信や企画を行ってもらうことを考えている。詳細が決まったら皆様にもご案内するので、ぜひご協力いただけるとありがたい。</p> <p>別件になるが、資料に記載の再編内容についてはそれぞれ地元への説明を行ったのか。</p> <p>また、再編内容が赤字や青字で書かれているが、赤字が前向きな見直しで、青字が厳しい内容という理解でよいか。</p> <p>大野線見直しの検討とあるが、大野線については今年の4月に見直しを行っているところ、他に具体的な見直しを考えているのか。</p>

事務局	<p>4月以降、再編に関係する地区に対して順次説明を行っており、再編内容については概ねご理解いただいている。</p> <p>赤字や青字の記載については、ご理解のとおり、赤字が前向きな見直し、青字が運休や減便などといった形で使い分けている。</p> <p>大野線については現時点で具体的な案があるわけではないが、事業者からも見直しの提案をいただいております、今後県や大野市とも議論をしていく必要があるということで記載している。</p>
委員	<p>デマンド交通やオンデマンド交通という言葉が記載されているが、どのように使い分けているのか。</p>
事務局	<p>ダイヤや路線は決まっているが、予約がないと運行しないものを「デマンド交通」、ダイヤも路線も決まっておらず、予約に応じて停留所間を移動できるものを「オンデマンド交通」と表記している。</p>
	<p>報告1：北東地区オンデマンド交通実証事業の概要について (資料に基づき、事務局より説明)</p>
委員	<p>現在運行している路線と同程度の利用があった場合、オンデマンド交通の方が運行コストは抑えられるのか。</p>
事務局	<p>基本的に運行コストの削減につながると見込んでいる。</p>
委員	<p>議案1で減便の話があったが、減便した上でオンデマンド交通の実証を行うという流れについて、地区への説明は済んでいるのか。</p>
事務局	<p>議案1の減便については、行政から地区への説明は行っていない。</p> <p>一方で、オンデマンド交通実証運行について地区への説明を行った際に、中藤乗合タクシー、円山重立乗合タクシー、岡保乗合タクシーといった路線をオンデマンド交通に統合し、再編する方向性を説明させていただいた。</p>
委員	<p>10月に利用者説明会を予定されているが、説明会はどのように行うのか。</p>
事務局	<p>現状では、各地区の公民館等に集まっていただくような形で説明会を開催したいと考えている。</p>

	<p>報告2：ふくい自動運転導入プロジェクトについて (資料に基づき、事務局より説明)</p>
委員	<p>運行ダイヤについて、実証実験終了後の実装段階でもこのダイヤで運行していく考えなのか。 また、実証期間は11月とのことだが、冬季の実証実験を行わなくて大丈夫なのか。</p>
事務局	<p>今回が初めての实証実験ということもあり、ダイヤについては日中の道路が空いている時間帯を設定した。実装段階においては、朝夕などへのダイヤ拡大をしていきたいと考えている。 また、冬季の実証運行についても、今回が初めての实証実験である点と、地図作成やAI学習に相応の準備期間が必要な点を踏まえ、今年度は見送る形になるが、対応は必要と認識しており、次年度以降に行っていきたい。</p>
委員	<p>レベル2での実証運行ということで、運転士が席についての実証運行になると思うが、事故が起きた場合の責任の所在はどうなるのか。 何かあった時の体制はしっかりしていただきたい。</p>
事務局	<p>安全対策については、これから事業者や警察、委員の皆様との協議を行いながら安全第一で取り組んでいく。</p>
	<p>報告3：令和7年度市町内交通分析シートの作成について (資料に基づき、事務局より説明)</p> <p>意見なし</p>
	<p>報告4：酒生地域コミュニティバスの運行計画変更について (資料に基づき、事務局より説明)</p> <p>意見なし</p>
	<p>報告5：美山地域バス(味見・芦見ルート)の停留所名の変更について (資料に基づき、事務局より説明)</p> <p>意見なし</p>

委員	<u>会議全体を通しての質問・意見</u> 観光の観点からの公共交通の利用促進の取組みがあってもよいのではない か。
事務局	地域公共交通計画の中で二次交通の充実といった施策を記載しており、観光 客も利用可能なデジタル企画切符の販売など、観光利用も日常利用も含めた 二次交通の利用促進を図っていくという形で取り組んでいる。 <p style="text-align: right;">以上</p>